

MIS_t13_{new}

皮膚に使用される消毒剤

「皮膚消毒には、
板乗り演歌仮面が来るようだ。」

解説： 皮膚消毒には、

いたのーり えんか

エタノール **塩化**ベンザル
コニウム

かめん が

界面活性剤

くる

グルコン酸

クロルヘキシジン

よーだ

ヨードホール

状況：皮膚をきれいにするの大切さを訴え、消毒が必要な場面では演歌仮面が必ず板に乗って現れるのだ。



対象物による消毒剤の使いわけ

効力	消毒剤名	皮膚に用いる	金属に用いる	内視鏡の消毒	作用／特徴
強	グルタルアルデヒド	・	○	○	蛋白合成阻害、蛋白凝固作用
中	次亜塩素酸ナトリウム	・	・	・	金属腐蝕性、塩素臭、刺激性
	ホルムアルデヒド	・	・	・	蛋白凝固作用、刺激臭
	エタノール	○	○	・	70～90%で使用
	ヨード ホール（ポビドンヨード）	○	・	・	副作用少ない
	フェノール（石炭酸）	・	・	・	刺激臭、神経毒作用
弱	クレゾール石鹼液	・	・	・	皮膚刺激性
	塩化 ベンザルコニウム（逆性石鹼）	○	○	・	耐性菌あり
	グルコン酸 クロルヘキシジン	○	○	・	耐性菌あり
	両性 界面 活性剤	○	○	・	耐性菌あり

「・」：効果がないか低い または用いない